


人と魚と海のネットワーク 香川県漁連ホームページ http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/ E-mail:gyoren@kagawa-gyoren.or.jp		 高松市北浜町 8 - 25 TEL 087-825-0350 FAX 087-851-0699 J F 香川漁連
---	--	---

大会テーマ 「青い海 守る心に 豊かな未来」	大会キャラクター  <h2 style="color: green;">第24回全国豊かな海づくり大会開催記念 「海を愛する子供たちの絵画・作文コンクール」 入賞作品の紹介</h2>																
<p>去る 9 月 28 日サンポート高松で開催された「第 24 回全国豊かな海づくり大会イベント」の式典において表彰された作品を紹介する。なお、大会キャラクターは、応募総数 1,798 点、大会テーマは、1,457 点の一般公募作品の中から選ばれた。絵画・作文コンクールについては、下記のとおり。</p>																	
<p>1. 募集及び応募の状況</p> <p>(1) 題 材 絵画・作文とも海や水産業に関するものであれば自由</p> <p>(2) 募集対象 県内の小学校、中学校及び盲・ろう・養護学校の小学部、中学部の児童・生徒</p> <p>(3) 募集期間 平成 15 年 6 月 2 日～9 月 5 日</p> <p>(4) 応募点数 (絵画) 1,287 点 (作文) 806 点</p>																	
<p>2. 入賞者</p>																	
<table border="1"> <tr> <td>大会テーマ 最優秀賞</td> <td>岩田 孟 県立観音寺中央高校 1 年</td> </tr> <tr> <td>大会キャラクター最優秀賞</td> <td>峪村 美帆 県立高松工芸高校 2 年</td> </tr> </table>	大会テーマ 最優秀賞	岩田 孟 県立観音寺中央高校 1 年	大会キャラクター最優秀賞	峪村 美帆 県立高松工芸高校 2 年													
大会テーマ 最優秀賞	岩田 孟 県立観音寺中央高校 1 年																
大会キャラクター最優秀賞	峪村 美帆 県立高松工芸高校 2 年																
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>絵画コンクール</th> <th>作文コンクール</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>香川県知事賞</td> <td>山本 健太郎 さぬき市立中央小学校 2 年 新居田 泰之 高松市立屋島小学校 5 年 草薙 俊作 丸亀市立南中学校 1 年</td> <td>清船 貴子 東かがわ市立引田小学校 2 年 岩中 まき 坂出市立岩黒小学校 4 年 小浜 嵩大 国分寺町立国分寺中学校 1 年</td> </tr> <tr> <td>香川県議会議長賞</td> <td>岡崎 良規 高松市立屋島西小学校 2 年 石田 智也 高松市立屋島小学校 4 年 藤岡 由貴子 三野町立三野津中学校 3 年</td> <td>櫃本 優真 坂出市立櫃石小学校 1 年 新池 愛乃 坂出市立西部小学校 4 年 小西 彩加 高松市立光洋中学校 2 年</td> </tr> <tr> <td>高松市長賞</td> <td>西原 瑞貴 高松市立四番丁小学校 2 年 森 麗也 高松市立古高松南小学校 5 年 柳萬 かつ枝 高松市立協和中学校 2 年</td> <td>高城 愛貴 高松市立築地小学校 3 年 丸山 開世 高松市立屋島西小学校 6 年 沖 哲矢 高松市立玉藻中学校 2 年</td> </tr> <tr> <td>香川県漁連会長賞</td> <td>山本 彩加 高松市立中央小学校 2 年 山下 茄菜 多度津町立四箇小学校 6 年 福崎 美佳 香川大学教育学部附属坂出中学校 1 年</td> <td>中村 萌子 坂出市立岩黒小学校 2 年 柴田 啓志 さぬき市立志度小学校 5 年 近藤 孝充 東かがわ市立引田中学校 3 年</td> </tr> </tbody> </table>		絵画コンクール	作文コンクール	香川県知事賞	山本 健太郎 さぬき市立中央小学校 2 年 新居田 泰之 高松市立屋島小学校 5 年 草薙 俊作 丸亀市立南中学校 1 年	清船 貴子 東かがわ市立引田小学校 2 年 岩中 まき 坂出市立岩黒小学校 4 年 小浜 嵩大 国分寺町立国分寺中学校 1 年	香川県議会議長賞	岡崎 良規 高松市立屋島西小学校 2 年 石田 智也 高松市立屋島小学校 4 年 藤岡 由貴子 三野町立三野津中学校 3 年	櫃本 優真 坂出市立櫃石小学校 1 年 新池 愛乃 坂出市立西部小学校 4 年 小西 彩加 高松市立光洋中学校 2 年	高松市長賞	西原 瑞貴 高松市立四番丁小学校 2 年 森 麗也 高松市立古高松南小学校 5 年 柳萬 かつ枝 高松市立協和中学校 2 年	高城 愛貴 高松市立築地小学校 3 年 丸山 開世 高松市立屋島西小学校 6 年 沖 哲矢 高松市立玉藻中学校 2 年	香川県漁連会長賞	山本 彩加 高松市立中央小学校 2 年 山下 茄菜 多度津町立四箇小学校 6 年 福崎 美佳 香川大学教育学部附属坂出中学校 1 年	中村 萌子 坂出市立岩黒小学校 2 年 柴田 啓志 さぬき市立志度小学校 5 年 近藤 孝充 東かがわ市立引田中学校 3 年		
	絵画コンクール	作文コンクール															
香川県知事賞	山本 健太郎 さぬき市立中央小学校 2 年 新居田 泰之 高松市立屋島小学校 5 年 草薙 俊作 丸亀市立南中学校 1 年	清船 貴子 東かがわ市立引田小学校 2 年 岩中 まき 坂出市立岩黒小学校 4 年 小浜 嵩大 国分寺町立国分寺中学校 1 年															
香川県議会議長賞	岡崎 良規 高松市立屋島西小学校 2 年 石田 智也 高松市立屋島小学校 4 年 藤岡 由貴子 三野町立三野津中学校 3 年	櫃本 優真 坂出市立櫃石小学校 1 年 新池 愛乃 坂出市立西部小学校 4 年 小西 彩加 高松市立光洋中学校 2 年															
高松市長賞	西原 瑞貴 高松市立四番丁小学校 2 年 森 麗也 高松市立古高松南小学校 5 年 柳萬 かつ枝 高松市立協和中学校 2 年	高城 愛貴 高松市立築地小学校 3 年 丸山 開世 高松市立屋島西小学校 6 年 沖 哲矢 高松市立玉藻中学校 2 年															
香川県漁連会長賞	山本 彩加 高松市立中央小学校 2 年 山下 茄菜 多度津町立四箇小学校 6 年 福崎 美佳 香川大学教育学部附属坂出中学校 1 年	中村 萌子 坂出市立岩黒小学校 2 年 柴田 啓志 さぬき市立志度小学校 5 年 近藤 孝充 東かがわ市立引田中学校 3 年															

香川県知事賞[小学校低学年の部]

「海の絵」

さぬき市立中央小学校 2 年 山本 健太郎



「海も生きている」

東かがわ市立引田小学校 2 年 清船 貴子

わたしのおとうさんのおしごとは、りょうしです。ハマチやタイ、カンパチなどもそだてています。いつもしんせんでおいしいさかなが食べられます。わたしの大こうぶつは、さしみとハマチのかまのしおやきです。

おとうさんは、いつも朝早くからおきて、さかなにえさをあげに行きます。わたしも、えさをあげるところをふねにのって見に行ったことがあります。えさをあげると、海の下のほうにいたさかなが、パシャパシャと音をたてて水めで元気にはねながら、おいしそうにえさを食べます。わたしは、とても楽しかったけど、おとうさんのおしごとって大へんなんだな、と思いました。

でもこ年は、朝わたしがおきるとまだ家にいることがありました。「どうしたの?」と聞くと、「赤しおがきて、えさをあげれん。」と言いました。赤しおって何だろうと思いいじ書でしらべてみました。『海水中にちいさな生ぶつ(プランクトン)やもなどがふえ、海水が赤く見えるげんしょう。ひどいときはさかなや貝がしぬ。』と書いてありました。おとうさんは、「海がよごれているから。」と教えてくれました。へい気でごみをすてたり、きたない水を海にながしたりする人がいるからだと、わたしは考えました。そして、海がおこっているんだと思いました。

これからも、しんせんでおいしいさかなが食べられるように、わたしたちのしぜんの海を、もっともっと大切にしないではいけないと思いました。だって、海もわたしたち人間と同じように、こきゅうを

しているんだから。いきているんだから。

「水産教室」を開催 小学校で漁業とお魚をPR

(社)香川県水産振興協会は、成長期にある子供達に、社会教育、食教育の一環として、県内の水産業に対する理解と親しみを深めてもらうことを目的に、9月30日(火)大野原町立五郷小学校(関茂樹校長)で「水産教室」を開催した。

この事業は平成15年度水産物県内消費拡大推進事業(県補助事業)の一環で、県内の小学生や一般消費者に水産教室、料理教室、漁業体験、市場見学等に参加してもらうもので、今年度は県内各地で18回計画している。

五郷小学校は、全校生徒数54名、教職員11名と小規模校であったため、65名全員を対象に開催した。今回は、第3校時に地元漁業の紹介としてミニチュアの小型定置網を校庭に設置し、魚の獲れる仕組みや魚種等を説明し、漁業に関する質疑を行った。児童達は、一度網に入った魚が外に出られない網の工夫に感心すると共に、「網に入った魚は全て逃げることなく獲れるのか」「網を使った漁業の種類は他にどのようなものがあるのか」等、多くの質問がでた。この後、網の中を魚になったつもりで歩いてもらい、最後に袋網に入る疑似体験をもらった。児童達はこの体験に大喜びで「魚の気持ちがわかる」とか「私はどんな種類の魚なのかな」などと口々に話し合っていた。



定置網の袋網で遊ぶ子供たち

休憩時間を挟み第4校時は、魚の捌き方教室として講師の指導で、全員がイワシの手開きを行った。手開きの後、1年から4年生はフライパンを片手に

手開きしたイワシのかば焼きを実習、5・6年生は包丁片手に燧灘の小型定置網で漁獲されるハギ、シタビラメ、クロダイ等の捌き方を実習した。児童達は日頃家庭では魚の調理などしたことがないと言いながらも積極的に取り組み、講師の指導のもと上手に捌いていた。かば焼きの調理は、教職員の指導で上手くできる者もあれば、火が強過ぎて焦がしたり、上手くひっくり返せずバラバラにしてしまったりと散々な者もいたが、何とか無事に終了した。出来上がったかば焼きは給食に出され、全員が美味しい美味しいと大喜びで食べていた。



イワシの手開き料理教室

また、三豊漁連小濱福重会長は、給食後、閉会の挨拶で「お魚には、子供の成長には欠かせない大事な栄養や、頭の良くなる栄養素等が沢山含まれています。これからも三豊で獲れるお魚をどんどん買って、美味しく料理をして沢山食べて下さい」と締めくくった。最後に児童代表からお礼の言葉があり、「少しでも小型定置網という漁業のことがわかった。お魚の料理もやってみると楽しいので、これからはお母さんの手伝いをしながら美味しい魚料理を覚えていきたい」と力強く語ってくれた。

今年度、残りの「水産教室」においても、一人でも多くの子供達、消費者に漁業や魚食の大切さ、資源管理や環境保全など漁業者の日頃の取り組みを紹介していきたい。

「海洋環境保全推進週間」について

海上保安庁では、「未来に残そう青い海」をスローガンに毎年6月と11月に「海洋環境保全推進週間」を定め、海洋環境保全思想の普及・啓発を図ることとしています。

今期は、11月1日(土)から7日(金)までの1週間で、主に海事・漁業関係者、事業者を対象とした海洋環境保全講習会・訪船指導を重点的に行なう予定

としております。

主な活動は、以下のとおりです。

- 1 廃船の適正処理
廃船の不法な投棄の防止及び投棄者自身による廃船の適正な処理の促進
- 2 廃棄物の適正処理
海事・漁業者のほか、廃棄物処分業者等による廃棄物の不法な投棄の防止及び適正な処理の促進
- 3 油等の排出事故防止
燃料油及び貨物油並びに有害液体物質の取扱作業の適正な実施
- 4 ビルジ等の適正処理
ビルジ及び残存有害液体物質等の適正な処理の促進

新しい組合長紹介

(敬称略)

牟礼漁協

新任 小山良明
(平成15年10月11日就任)

退任 小山照一



主な行事予定 (11/1~11/30)

- 1 1月5日(水) 無線組合理事会
漁船保険組合理事会
- 6日(木) 漁連理事会
- 13(木)・14(金) 監査会
- 2 1日(金) 漁協運動功労者表彰式(東京)
- 2 6日(水) 組合運営における役員責任に関する研修会